2018年度

シ ラ バ ス

観光学研究科

立 教 大 学

作成日:2018 年 09 月 05 日

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／観光研究演習A (Seminer on Tourism Research(A))		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	修士論文作成に向けた発表・議論の習熟		
担当者名 (Instructor)	越智　郁乃(OCHI IKUNO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	1単位(1 Credit)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5003	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

本授業は、毎回複数人の学生による研究発表・議論を積み重ねることで、修士論文のテーマ設定、内容の深化を図ることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

本授業では、複数教員参加のもとで学生による発表を行い、議論を重ねる。第2回から9回にかけて、数人の発表者が研究発表を行い、各発表者につき複数教員からコメントを得て、学生からの応答を繰り返すことで、修論テーマと内容を明確化していく。第10回では研究科全教員出席のもとで修士論文構想報告会を開催する。第11回から14回では構想報告会の振り返りを行い、各発表者の研究に反映させる。

授業計画(Course Schedule)

1. 授業の進め方について説明
2. 研究発表①テーマ設定に向けて
3. 研究発表②テーマ設定に向けて
4. 研究発表③テーマ設定に向けて
5. 研究発表④テーマ設定に向けて
6. 研究発表⑤内容構成の深化
7. 研究発表⑥内容構成の深化
8. 研究発表⑦内容構成の深化
9. 研究発表⑧内容構成の深化
10. 研究科全教員参加による修士論文構想発表会
11. 構想発表会のフィードバック①発表者による構想発表会の振り返りと議論の整理、今後の研究に向けての課題整理
12. 構想発表会のフィードバック②発表者による構想発表会の振り返りと議論の整理、今後の研究に向けての課題整理
13. 構想発表会のフィードバック③発表者による構想発表会の振り返りと議論の整理、今後の研究に向けての課題整理
14. 構想発表会のフィードバック④発表者による構想発表会の振り返りと議論の整理、今後の研究に向けての課題整理

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前の発表準備、事後の振り返りに時間を多大な時間と労力を要する。まず、本授業開始までに大まかなテーマ設定とそのための先行研究の読み込み、整理を各自行うこと。また、第2回～9回にかけて各自発表準備、11回以降は、各発表のフィードバックとして、発表で達成できたこと、今後の課題の整理を行うこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

発表及び議論の内容を総合的に判断する(100%)

テキスト(Textbooks)

適宜指示する。

参考文献(Readings)

適宜指示する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA1**／観光研究基礎指導A (Supervision Seminar on Tourism Research(A))		
担当者名 (Instructor)	研究科専任教員		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5003	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

2年次の修士論文執筆に向けて，テーマや方法論について個別に指導を行い，1年次終了時には，修士論文のフレームが完成することを目標とする。

授業の内容(Course Contents)

前期課程1年次生を対象に，研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 研究の仮テーマの設定1
3. 研究の仮テーマの設定2
4. 研究の仮テーマの設定3
5. 文献研究1
6. 文献研究2
7. 文献研究3
8. 文献研究4
9. 研究方法の検討1
10. 研究方法の検討2
11. 研究方法の検討3
12. 研究計画の策定1
13. 研究計画の策定2
14. まとめと今後の作業の確認

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

指導内容を参考に，各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

研究活動の状況により総合的に評価する(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／観光研究基礎指導B (Supervision Seminar on Tourism Research(B))		
担当者名 (Instructor)	研究科専任教員		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5003	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

2年次の修士論文執筆に向けて，テーマや方法論について個別に指導を行い，1年次終了時には，修士論文のフレームが完成することを目標とする。

授業の内容(Course Contents)

前期課程1年次生を対象に，研究科専任教員が分担して研究全般について個別に指導を行う。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 予備調査の実施と経過の報告1
3. 予備調査の実施と経過の報告2
4. 予備調査の実施と経過の報告3
5. 調査結果の分析と経過の報告1
6. 調査結果の分析と経過の報告2
7. 修士論文構想発表会での報告準備1
8. 修士論文構想発表会での報告準備2
9. プレゼンテーション指導
10. 研究テーマの再検討1
11. 研究テーマの再検討2
12. 研究計画の再検討1
13. 研究計画の再検討2
14. まとめと今後の作業の確認

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

指導内容を参考に，各自の仮テーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

研究活動の状況により総合的に評価する(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA3**／修士論文指導演習A (Supervision Seminar on Master's Thesis(A))		
担当者名 (Instructor)	研究科専任教員		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG6003	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

修士論文執筆に向けて，テーマや方法について個別に研究指導を行い，修士論文の完成を目指す。

授業の内容(Course Contents)

前期課程2年生次を対象に，研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 研究テーマおよびこれまでの成果の確認
3. 研究計画の確認
4. 調査の実施と経過の報告1
5. 調査の実施と経過の報告2
6. 調査結果の分析と経過の報告1
7. 調査結果の分析と経過の報告2
8. 中間報告会での報告準備1
9. 中間報告会での報告準備2
10. 研究構成の再検討1
11. 研究構成の再検討2
12. 調査分析計画の再検討1
13. 調査分析計画の再検討2
14. まとめと今後の作業の確認

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／修士論文指導演習B (Supervision Seminar on Master's Thesis(B))		
担当者名 (Instructor)	研究科専任教員		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG6003	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

修士論文執筆に向けて，テーマや方法について個別に研究指導を行い，修士論文の完成を目指す。

授業の内容(Course Contents)

前期課程2年生次を対象に，研究科専任教員が分担して修士論文の作成全般について個別に指導を行う。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 調査結果の分析・考察の実施と経過報告1
3. 調査結果の分析・考察の実施と経過報告2
4. 調査結果の分析・考察の実施と経過報告3
5. 調査結果の分析・考察の実施と経過報告4
6. 仮提出に向けた修士論文の執筆指導1
7. 仮提出に向けた修士論文の執筆指導2
8. 仮提出に向けた修士論文の執筆指導3
9. 論文の修正指導1
10. 論文の修正指導2
11. 本提出に向けた修士論文の執筆指導1
12. 本提出に向けた修士論文の執筆指導2
13. 修士論文報告会，審査会での発表準備1
14. 修士論文報告会，審査会での発表準備2

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

指導内容を参考に，各自のテーマに沿って準備を進めること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

修士論文，発表および研究活動の状況により総合的に評価する(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA551／観光経済学研究 (Tourism Economics)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	観光現象に関する経済学的理解		
担当者名 (Instructor)	麻生　憲一(ASOH KEN-ICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光の経済学的研究に必要な基礎的知識を習得し、分析手法について学ぶ。

授業の内容(Course Contents)

観光経済学の近年のテキストに従って、観光経済学領域の研究動向について理解し、その分析手法について、ミクロ経済学、マクロ経済学の両面から習得する。また、計量的手法を用いた実証的研究論文などについても説明を行う。講義中、各自の研究テーマに沿って受講生と討議を行う予定である。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 観光経済学の研究動向1
3. 観光経済学の研究動向2
4. 観光現象のミクロ経済学的アプローチ(1)
5. 観光現象のミクロ経済学的アプローチ(2)
6. 観光現象のミクロ経済学的アプローチ(3)
7. 観光現象のミクロ経済学的アプローチ(4)
8. 観光現象のマクロ経済学的アプローチ(1)
9. 観光現象のマクロ経済学的アプローチ(2)
10. 観光現象のマクロ経済学的アプローチ(3)
11. 観光現象のマクロ経済学的アプローチ(4)
12. 観光の実証的研究(1)
13. 観光の実証的研究(2)
14. 観光統計と計量分析

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前に指示をした文献を読み込み、内容把握に努めること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業中の報告と議論を総合的に評価する。(100%)

テキスト(Textbooks)

テキストをコピーして配付する。英文テキストも含まれる。

参考文献(Readings)

授業中に紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA552／観光地理学研究 (Tourism Geography)		
担当者名 (Instructor)	佐藤　大祐(SATO DAISUKE)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光地理学の研究方法を習得し，自らの観光研究に応用できるようになる。

授業の内容(Course Contents)

観光に関する諸問題をテーマとしたフィールド調査を事例に，観光地理学研究の着眼点や調査の方法，資料の分析と地図化・図表化について講義する。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション：観光地理学における文献サーベイ
2. 受講者による研究紹介(卒業研究等)
3. 受講者による論文の紹介と討論
4. 受講者による論文の紹介と討論
5. 調査・研究の設計
6. 調査・研究の設計
7. 調査の実際(聞き取りと土地利用調査)
8. 資料の分析と提示(土地利用図の作成)
9. 資料の分析と提示(比例記号図)
10. 資料の分析と提示(コロプレス図)
11. 資料の分析と提示(統計処理)
12. 受講者による発表と討論
13. 受講者による発表と討論
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

教員の指示に従い授業時間外に資料の分析やレポート作成などを進めること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

平常点(60%)/レポート作成(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

本科目の内容は「観光地理学研究(2)」で実施するフィールドワークや論文執筆等とリンクするため，履修者は 2018 年度春学期開講「観光地理学研究(2)」を同時履修することが望ましい。

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA553／観光人類学研究 (Tourism Anthropology)		
担当者名 (Instructor)	門田　岳久(KADOTA TAKEHISA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2017 年度入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

いわゆる先住民研究の文脈で進展してきた在来知(Indigenous Knowledge)に関する研究は、近年人類学の存在論的転換の議論と相俟って、前近代的で固定的な認識枠組みではなく、「彼ら」の世界の全体的理解を促す、近代的(科学的)知識と同列に扱うべきものだとされるようになってきた。地域開発や文化資源の管理など、観光にも関係の深い社会現象に在来知を生かしていこうという動きが盛んになる現在、人類学の近年の議論を参照枠組みとしつつ、下記のような事例を輪読していくことで、このイシューに観光人類学的な視座を開くことを目標とする。

授業の内容(Course Contents)

近年の在来知研究においては、科学技術の人類学の影響を受け、その知のあり方が固定された既に完成したものではなく、人やモノ(非人間)の関係性を通じて生み出される不安定なプロセスとして捉える見方がある。開発や観光に関わる資源管理の場で、在来知が発見・表象・資源化されていく複雑性を理解することは、旧来の観光人類学等観光研究全般が措定しがちな、開発資本の合理主義的な知の有り方と、それに凌駕され収奪されていく在来知、という二項対立的な見方を越えることを可能にするかもしれない。授業では理論的な部分を冒頭に押さえたあと、自然景観、農業、伝統医療等を資源とする観光開発に関する文章を批判的に検討していく。

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 観光人類学・観光文化学の現状把握
3. 在来知の人類学的研究
4. 受講生による文献読解と議論
5. 受講生による文献読解と議論
6. 受講生による文献読解と議論
7. 受講生による文献読解と議論
8. 受講生による文献読解と議論
9. 受講生による文献読解と議論
10. 受講生による文献読解と議論
11. 受講生による文献読解と議論
12. 受講生による文献読解と議論
13. 総合討論
14. 全体の総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

本科目では文化人類学の基礎知識があることを前提として進めるため、自身の専門分野が異なる場合はあらかじめ文化人類学というものがどういうものか大枠で理解する程度には勉強しておくこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

報告内容(100%)

テキスト(Textbooks)

初回に文献一覧をもとに指示する。以下の書籍は在来知研究、存在論的転換等の予習になると思われる。
・本多俊和・葛野浩昭・大村敬一編『文化人類学研究：先住民の世界』放送大学教育振興会
・『人類学のゆくえ』(『現代思想』2016 年 3 月臨時増刊号)

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA554／観光経営研究 (Tourism Management)		
担当者名 (Instructor)	韓　志昊(HAN JIHO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光経営分野の研究動向を学習し、自分のテーマで研究計画書を作成する。

授業の内容(Course Contents)

観光経営分野の研究動向を把握するために、主に英文文献を中心にテーマ別に
Critical Reading をしながら、Discussion を行う。文献研究を踏まえ、自身の研究テーマを選定し、英語で研究計画書を作成する。

授業計画(Course Schedule)

1. Introduction
2. Reading & Discussion – Destination Management に関する研究 1
3. Reading & Discussion – Destination Management に関する研究 2
4. Reading & Discussion – Hotel Management に関する研究 1
5. Reading & Discussion – Hotel Management に関する研究 2
6. Reading & Discussion – Event Management に関する研究 1
7. Reading & Discussion – Event Management に関する研究 2
8. Reading & Discussion – F&B Management に関する研究 1
9. Reading & Discussion – F&B Management に関する研究 2
10. Reading & Discussion – Special Issues
11. 研究テーマの構想
12. 研究計画書の作成
13. 研究計画の発表
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

英文ジャーナルの検索方法を学習し、興味があるテーマの英文論文を読む訓練をすること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/毎回の授業への準備(60%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA555／観光計画研究 (Tourism Planning)		
担当者名 (Instructor)	小野　良平(ONO RYOHEI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2017 年度入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

環境・景観保全やランドスケーププランニングの観点からの，観光地その他における地域づくり等に関わる計画論の考え方を学び，観光地および観光資源の資源性に関わる価値を評価する目を養うことをねらいとする。

授業の内容(Course Contents)

観光地その他における地域づくり等に関して，風景計画論，景観保全論，レクリエーション空間計画論等のランドスケーププランニングの考え方を紹介するとともに，観光資源の価値の捉え方について事例とともに議論を行う。これらを踏まえて参加者による事例調査・報告を行い議論を深める。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 観光計画と風景計画論
3. 観光計画とレクリエーション空間計画論
4. 事例空間（1）
5. 事例空間（2）
6. 事例空間（3）
7. 事例空間（4）
8. 事例空間（5）
9. 事例空間（6）
10. 実地調査計画
11. 実地調査経過報告
12. 実地調査報告（1）
13. 実地調査報告（2）
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時に適宜指示します。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)／平常点(60%)

テキスト(Textbooks)

授業時に適宜紹介します。

参考文献(Readings)

授業時に随時紹介します。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA556／観光社会学研究 (Tourism Sociology)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	観光研究におけるパフォーマンス的転回		
担当者名 (Instructor)	高岡　文章(TAKAOKA FUMIAKI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2017 年度入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

社会学の観点から観光について研究するために必要な概念や手法を習得すること。

授業の内容(Course Contents)

近年の観光社会学における最重要キーワードの一つである「パフォーマンス」について、主にアーヴィング・ゴッフマン「行為と演技」を精読しながら検討する。

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 文献講読
3. 文献講読
4. 文献講読
5. 文献講読
6. 文献講読
7. 文献講読
8. 文献講読
9. 文献講読
10. 文献講読
11. 文献講読
12. 文献講読
13. 文献講読
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

指定された内容の予習が受講の前提となる。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(70%)/授業への参加度(30%)

テキスト(Textbooks)

1. アーヴィング・ゴッフマン、1974、『行為と演技』、誠信書房 (ISBN:4414518016)
2. ジョン・アーリ、2014、『観光のまなざし』、法政大学出版局 (ISBN:9784588010149)

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA557／観光文化研究 (Cultural Development of Tourism)		
担当者名 (Instructor)	大橋　健一(OHASHI KENICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2017 年度入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

これまでの観光研究がなかば所与自明としてきた西欧近代社会を前提とした「観光/tourism」概念を再検討し、「観光」の理解の深化、総合化を図ることを目標とする。

授業の内容(Course Contents)

従来の観光研究において、観光現象は比較的平板な近代社会像を所与の文脈として論じられることが一般的であった。このような傾向を乗り越えるため、本授業では、社会主義体制下およびポスト社会主義体制下における「観光」現象を観光文化という観点から取り扱う。国内外の関連文献の輪読と討論を通して、「観光」現象の動態的理解を目指す。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 文献の渉猟とリストの作成(1)
3. 文献の渉猟とリストの作成(2)
4. 文献輪読(1)
5. 文献輪読(2)
6. 文献輪読(3)
7. 文献輪読(4)
8. 文献輪読(5)
9. 文献輪読(6)
10. 文献輪読(7)
11. 文献輪読(8)
12. 総合討論(1)
13. 総合討論(2)
14. 総合討論(3)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

社会主義体制の成立と展開に関する世界史的一般知識について各自整理しておくことが望ましい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/出席(30%)/授業への参加度(30%)

テキスト(Textbooks)

特に指定しない。適宜案内する。

参考文献(Readings)

適宜紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA559／観光行動研究 (Human Behavior in Tourism)		
担当者名 (Instructor)	相澤　孝文(AIZAWA TAKAFUMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

本科目は、観光行動および観光者心理にみられる特性とその具体的な調査分析手法について多角的に理解することをねらいとしている。

授業の内容(Course Contents)

本科目では、観光行動の基本的原理や様々なスケールの観光行動、ならびに観光者心理に関する調査研究論文を講読するとともに、受講生が個別に調査テーマを設定して課題に取り組む。

観光行動や観光者心理、ならびにそれらをふまえた観光計画の研究に関する原論的な内容を扱うので、とくにこの領域の研究に取り組もうと考えている諸君はぜひ受講してほしい。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 「観光の原理」について
3. 「観光の原理」について
4. 観光行動／観光者心理の事例研究
5. 観光行動／観光者心理の事例研究
6. 観光行動／観光者心理の事例研究
7. 観光行動／観光者心理の事例研究
8. 観光行動／観光者心理の事例研究
9. 調査計画案の検討
10. 調査計画案の検討
11. 調査の実施
12. 調査の実施
13. 成果報告
14. 成果報告

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

・受講生各自の修士論文テーマに関わりのある、観光行動／観光者心理の研究事例を調べておくこと。
・自身が関心を寄せている研究テーマや観光現象について、旅行者の視点からとらえ直してみる機会としても本講座を活用してほしい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業内課題(30%)/発表内容(30%)/調査報告レポート(40%)

テキスト(Textbooks)

取り上げる論文等を授業時間内に配布する。

参考文献(Readings)

1. 橋本俊哉、1997、『観光回遊論』、風間書房
2. 橋本俊哉　編、2013、『観光行動論』、原書房

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

受講生の関心領域の把握および課題発表スケジュール決定のため，第1回講義には必ず出席すること。

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA560／観光言語文学研究 (Language Literature in Tourism)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ヴェルヌ『八十日間世界一周』を英訳で読む		
担当者名 (Instructor)	石橋　正孝(ISHIBASHI MASATAKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2017 年度入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

ヨーロッパ近代に特有の現象として観光が発生した経緯を，文学作品の読解を通して理解する．合わせてテクスト分析の基本的な手法を学ぶ．

授業の内容(Course Contents)

ジュール・ヴェルヌの小説『八十日間世界一周』(1872 年)の和訳は，厳密なテキストクリティークや注を欠いており，それだけ読んでも作品の十分な理解に達することは難しい．そこで，本授業では，世界のヴェルヌ研究を牽引する専門家の一人であるウィリアム・ブッチャーによる精密な英訳を，詳細な注とともに精読する．適宜映像や図版資料の紹介を交え，理解を深めるよすがとしたい．

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション、ジュール・ヴェルヌの人と作品①
2. ジュール・ヴェルヌの人と作品②、後世への影響
3. 文献講読と討議
4. 文献講読と討議
5. 文献講読と討議
6. 文献講読と討議
7. 文献講読と討議
8. 文献講読と討議
9. 文献講読と討議
10. 文献講読と討議
11. 文献講読と討議
12. 文献講読と討議
13. 文献講読と討議
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

担当箇所に限らず，各回で読む予定の箇所(注も含む)に必ず前もって目を通しておくこと．

成績評価方法・基準(Evaluation)

発表及び授業参加(100%)

テキスト(Textbooks)

1. Jules Verne. 2008. The Extraordinary Journeys: Around the World in Eighty Days. Oxford University Press (ISBN:0199552517)

参考文献(Readings)

1. フォルカー・デース、2014、『ジュール・ヴェルヌ伝』、水声社 (ISBN:4801000304)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA563／観光地経営研究 (Tourism Area Management)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	観光地経営専門家育成プログラム		
担当者名 (Instructor)	東　徹(AZUMA TORU)		
学期 (Semester)	秋学期他(Fall Others)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 集中講義		

授業の目標(Course Objectives)

観光による地域振興を図るためには，変化する観光の動向を的確にとらえ、観光地を革新し、マネジメントする能力をもった人材が求められる。この授業では、そうした知識・スキルをもった人材＝観光地経営専門家を育成することを目標とする。

授業の内容(Course Contents)

地方創生が喫緊の課題とされる中、観光地を経営し，革新することの意義を理解し，実践する力を身につけるために，現代の観光を取り巻く様々な環境条件と変わりゆく観光の動向を把握するとともに，観光地の成長・衰退のメカニズムや，地域資源の活用、効果的な地域情報発信の方法など、観光と地域振興に関わる多様な分野の知識を学び，さらに事例研究，フィールドワークを通してより実践的・発展的な学習を行う。

授業計画(Course Schedule)

1. 現代の観光を取り巻く環境条件と変わりゆく観光の動向
2. 観光地経営の現代的課題
3. 観光地の成長・衰退のメカニズム
4. 「観光まちづくり」の理念と取り組み
5. 地域資源を活かした観光価値の創造
6. 事例研究(1)
7. フィールドワーク(1)
8. 地域における観光計画の立案
9. 観光地経営のための組織づくり
   ―日本型DMOとは―
10. 観光・地域振興に向けたマーケティングの考え方
11. 地域ブランドの意義と構築に向けた課題
12. 観光・地域振興に向けた地域情報発信
13. 事例研究(2)
14. フィールドワーク(2)
15. 全体の総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

準備学習については，講義開始時に指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

講義・議論への参加状況(60%)/最終レポート(Final Report)(40%)
講義や議論への参加状況、課題レポートで評価する。

テキスト(Textbooks)

授業時に資料を配布する。

参考文献(Readings)

必要に応じて指示する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

9 月下旬から 12 月上旬の週末(土曜日もしくは日曜日)6～7 回を使って開講される予定である。詳細は春学期中に観光学研究科掲示板に掲示する。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA571／観光環境・計画学研究（2） (Tourism Planning(2))		
担当者名 (Instructor)	小野　良平(ONO RYOHEI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

環境・景観保全やランドスケーププランニングの観点からの，観光地その他における地域づくり等に関わる計画論の考え方を学び，観光地および観光資源の資源性に関わる価値を評価する目を養うことをねらいとする。

授業の内容(Course Contents)

観光地その他における地域づくり等に関して，風景計画論，景観保全論，レクリエーション空間計画論等のランドスケーププランニングの考え方を紹介するとともに，観光資源の価値の捉え方について事例とともに議論を行う。これらを踏まえて参加者による事例調査・報告を行い議論を深める。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 観光計画と風景計画論
3. 観光計画とレクリエーション空間計画論
4. 事例空間（1）
5. 事例空間（2）
6. 事例空間（3）
7. 事例空間（4）
8. 事例空間（5）
9. 事例空間（6）
10. 実地調査計画
11. 実地調査経過報告
12. 実地調査報告（1）
13. 実地調査報告（2）
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時に適宜指示します。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)／平常点(60%)

テキスト(Textbooks)

授業時に適宜紹介します。

参考文献(Readings)

授業時に随時紹介します。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA573／観光社会学研究（1） (Sociology of Tourism(1))		
担当者名 (Instructor)	大橋　健一(OHASHI KENICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

これまでの観光研究がなかば所与自明としてきた西欧近代社会を前提とした「観光/tourism」概念を再検討し、「観光」の理解の深化、総合化を図ることを目標とする。

授業の内容(Course Contents)

従来の観光研究において、観光現象は比較的平板な近代社会像を所与の文脈として論じられることが一般的であった。このような傾向を乗り越えるため、本授業では、社会主義体制下およびポスト社会主義体制下における「観光」現象を観光文化という観点から取り扱う。国内外の関連文献の輪読と討論を通して、「観光」現象の動態的理解を目指す。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 文献の渉猟とリストの作成（1）
3. 文献の渉猟とリストの作成（2）
4. 文献輪読（1）
5. 文献輪読（2）
6. 文献輪読（3）
7. 文献輪読（4）
8. 文献輪読（5）
9. 文献輪読（6）
10. 文献輪読（7）
11. 文献輪読（8）
12. 総合討論（1）
13. 総合討論（2）
14. 総合討論（3）

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

社会主義体制の成立と展開に関する世界史的一般知識について各自整理しておくことが望ましい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/出席(30%)/授業への参加度(30%)

テキスト(Textbooks)

特に指定しない。適宜案内する。

参考文献(Readings)

適宜紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA575／観光社会学研究（3） (Sociology of Tourism(3))		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	観光研究におけるパフォーマンス的転回		
担当者名 (Instructor)	高岡　文章(TAKAOKA FUMIAKI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

社会学の観点から観光について研究するために必要な概念や手法を習得すること。

授業の内容(Course Contents)

近年の観光社会学における最重要キーワードの一つである「パフォーマンス」について、主にアーヴィング・ゴッフマン「行為と演技」を精読しながら検討する。

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 文献講読
3. 文献講読
4. 文献講読
5. 文献講読
6. 文献講読
7. 文献講読
8. 文献講読
9. 文献講読
10. 文献講読
11. 文献講読
12. 文献講読
13. 文献講読
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

指定された内容の予習が受講の前提となる。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(70%)/授業への参加度(30%)

テキスト(Textbooks)

1. アーヴィング・ゴッフマン、1974、『行為と演技』、誠信書房 (ISBN:4414518016)
2. ジョン・アーリ、2014、『観光のまなざし』、法政大学出版局 (ISBN:9784588010149)

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA576／観光人類学研究（1） (Anthropology of Tourism(1))		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	観光に関する文化人類学・社会学の学術論文を読む		
担当者名 (Instructor)	豊田　由貴夫(TOYODA YUKIO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

観光に関する研究で、文化人類学・社会学の分野から大きな影響を与えた学術論文を読む。

授業の内容(Course Contents)

文化人類学・社会学の分野で、古典とされる文献や、最近話題になったり、エポックメーキングとされている学術論文を読む。これを通じて、観光と文化に関する理論を学ぶことを目標とする。対象とする文献は日本語だけでなく、英語文献も予定している。

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 観光研究における古典的文献を読む(1) Hosts and Guests
3. 観光研究における古典的文献を読む(2) Hosts and Guests
4. 観光研究における古典的文献を読む(3) The Invention of Tradition
5. 観光研究における古典的文献を読む(4) Staged Authenticity
6. 観光研究におけるエポックメーキングな文献を扱う(1)
7. 観光研究におけるエポックメーキングな文献を扱う(2)
8. 観光研究におけるエポックメーキングな文献を扱う(3)
9. 観光研究におけるエポックメーキングな文献を扱う(4)
10. 観光研究における最近の文献を扱う(1)
11. 観光研究における最近の文献を扱う(2)
12. 観光研究における最近の文献を扱う(3)
13. 観光研究における最近の文献を扱う(4)
14. 観光研究における最近の文献を扱う(5)

授業時間外（予習・復習等）の学習(Study Required Outside of Class)

決められた課題文献を必ず事前に読んでおくように。この事前の準備をもとにして、授業中には積極的な議論を期待する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

平常点(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他（HP 等）(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA578／観光人類学研究（3） (Anthropology of Tourism(3))		
担当者名 (Instructor)	門田　岳久(KADOTA TAKEHISA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

いわゆる先住民研究の文脈で進展してきた在来知(Indigenous Knowledge)に関する研究は、近年人類学の存在論的転換の議論と相俟って、前近代的で固定的な認識枠組みではなく、「彼ら」の世界の全体的理解を促す、近代的(科学的)知識と同列に扱うべきものだとされるようになってきた。地域開発や文化資源の管理など、観光にも関係の深い社会現象に在来知を生かしていこうという動きが盛んになる現在、人類学の近年の議論を参照枠組みとしつつ、下記のような事例を輪読していくことで、このイシューに観光人類学的な視座を開くことを目標とする。

授業の内容(Course Contents)

近年の在来知研究においては、科学技術の人類学の影響を受け、その知のあり方が固定された既に完成したものではなく、人やモノ(非人間)の関係性を通じて生み出される不安定なプロセスとして捉える見方がある。開発や観光に関わる資源管理の場で、在来知が発見・表象・資源化されていく複雑性を理解することは、旧来の観光人類学等観光研究全般が措定しがちな、開発資本の合理主義的な知の有り方と、それに凌駕され収奪されていく在来知、という二項対立的な見方を越えることを可能にするかもしれない。授業では理論的な部分を冒頭に押さえたあと、自然景観、農業、伝統医療等を資源とする観光開発に関する文章を批判的に検討していく。

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 観光人類学・観光文化学の現状把握
3. 在来知の人類学的研究
4. 受講生による文献読解と議論
5. 受講生による文献読解と議論
6. 受講生による文献読解と議論
7. 受講生による文献読解と議論
8. 受講生による文献読解と議論
9. 受講生による文献読解と議論
10. 受講生による文献読解と議論
11. 受講生による文献読解と議論
12. 受講生による文献読解と議論
13. 総合討論
14. 全体の総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

本科目では文化人類学の基礎知識があることを前提として進めるため、自身の専門分野が異なる場合はあらかじめ文化人類学というものがどういうものか大枠で理解する程度には勉強しておくこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

報告内容(100%)

テキスト(Textbooks)

初回に文献一覧をもとに指示する。以下の書籍は在来知研究、存在論的転換等の予習になると思われる。
・本多俊和・葛野浩昭・大村敬一編『文化人類学研究：先住民の世界』放送大学教育振興会
・『人類学のゆくえ』(『現代思想』2016 年 3 月臨時増刊号)

参考文献(Readings)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA580／観光地理学研究(2) (Tourism Geography(2))		
担当者名 (Instructor)	杜　国慶(DU GUOQING)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

観光地理学に関連する諸問題をテーマとしたフィールドワークを実施し，観光地理学の研究に必要な基礎的手法の数々およびそれらを応用する力を身に付ける。

授業の内容(Course Contents)

東京または国内のある地域を対象に，文献研究を含むフィールドワークの事前準備から，フィールドワークの実施，資料の収集と分析を通して地域の諸問題を探求し，論文を作成する。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 文献研究と研究テーマの設定
3. 地誌資料の渉猟
4. 統計資料の分析
5. フィールドワーク事前準備
6. フィールドワークの実施
7. フィールドワークの実施
8. フィールドワークの実施
9. 収集資料の整理
10. 収集資料の分析
11. 図表等の作成
12. 文章の執筆
13. 結果の発表・討論
14. 総括

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外に文献研究やフィールドワーク，データ分析，文章執筆をするので，十分な学習時間を確保して臨むこと。フィールドワークは週末または休暇期間に宿泊して実施する。補足調査も適宜実施する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業での報告・討議(30%)/授業外での資料作成(収集と分析など)(30%)/レポート作成(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1)本科目では調査準備やフィールドワーク，論文執筆等でグループワークを実施するため，時間に余裕のある 1 年次での履修が望ましい(修士論文や就職活動と重複することが予想されるため)。
2)履修者は 2018 年度春学期開講「観光地理学研究(3)」を同時履修することが望ましい。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA581／観光地理学研究（3） (Tourism Geography(3))		
担当者名 (Instructor)	佐藤　大祐(SATO DAISUKE)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

観光地理学の研究方法を習得し，自らの観光研究に応用できるようになる。

授業の内容(Course Contents)

観光に関する諸問題をテーマとしたフィールド調査を事例に，観光地理学研究の着眼点や調査の方法，資料の分析と地図化・図表化について講義する。

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション：観光地理学における文献サーベイ
2. 受講者による研究紹介（卒業研究等）
3. 受講者による論文の紹介と討論
4. 受講者による論文の紹介と討論
5. 調査・研究の設計
6. 調査・研究の設計
7. 調査の実際（聞き取りと土地利用調査）
8. 資料の分析と提示（土地利用図の作成）
9. 資料の分析と提示（比例記号図）
10. 資料の分析と提示（コロプレス図）
11. 資料の分析と提示（統計処理）
12. 受講者による発表と討論
13. 受講者による発表と討論
14. 総括

授業時間外（予習・復習等）の学習(Study Required Outside of Class)

教員の指示に従い授業時間外に資料の分析やレポート作成などを進めること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

平常点(60%)/レポート作成(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他（HP 等）(Others(e.g.HP))

本科目の内容は「観光地理学研究(2)」で実施するフィールドワークや論文執筆等とリンクするため，履修者は 2018 年度春学期開講「観光地理学研究(2)」を同時履修することが望ましい。

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA586／観光歴史学研究 (History of Tourism)		
担当者名 (Instructor)	千住　一(SENJU HAJIME)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

歴史学、特に近代史の視点から観光および関連する事象を検討する。

授業の内容(Course Contents)

文献講読を基本とし、受講者による報告とディスカッションを繰り返しながら、近代という時代において観光および関連する事象が有していた機能や役割についての検討を行う。2018 年度は、近代日本における植民地と観光の関係に着目する。

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 文献講読およびディスカッション 1
3. 文献講読およびディスカッション 2
4. 文献講読およびディスカッション 3
5. 文献講読およびディスカッション 4
6. 文献講読およびディスカッション 5
7. 文献講読およびディスカッション 6
8. 文献講読およびディスカッション 7
9. 文献講読およびディスカッション 8
10. 文献講読およびディスカッション 9
11. 文献講読およびディスカッション 10
12. 文献講読およびディスカッション 11
13. 文献講読およびディスカッション 12
14. 講義のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

関連する先行研究を講読する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

講義への取り組み(100%)

テキスト(Textbooks)

適宜指示する。2018 年度は、近代日本における植民地と観光の関係に着目した論考を取り上げる。

参考文献(Readings)

適宜指示する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA587／観光文学研究（2） (Literature and Tourism(2))		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ヴェルヌ『八十日間世界一周』を英訳で読む		
担当者名 (Instructor)	石橋　正孝(ISHIBASHI MASATAKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2018 年度以降 1 年次入学者対象		

授業の目標(Course Objectives)

ヨーロッパ近代に特有の現象として観光が発生した経緯を，文学作品の読解を通して理解する．合わせてテクスト分析の基本的な手法を学ぶ．

授業の内容(Course Contents)

ジュール・ヴェルヌの小説『八十日間世界一周』(1872 年)の和訳は，厳密なテキストクリティークや注を欠いており，それだけ読んでも作品の十分な理解に達することは難しい．そこで，本授業では，世界のヴェルヌ研究を牽引する専門家の一人であるウィリアム・ブッチャーによる精密な英訳を，詳細な注とともに精読する．適宜映像や図版資料の紹介を交え，理解を深めるよすがとしたい．

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション、ジュール・ヴェルヌの人と作品①
2. ジュール・ヴェルヌの人と作品②、後世への影響
3. 文献講読と討議
4. 文献講読と討議
5. 文献講読と討議
6. 文献講読と討議
7. 文献講読と討議
8. 文献講読と討議
9. 文献講読と討議
10. 文献講読と討議
11. 文献講読と討議
12. 文献講読と討議
13. 文献講読と討議
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

担当箇所に限らず，各回で読む予定の箇所(注も含む)に必ず前もって目を通しておくこと．

成績評価方法・基準(Evaluation)

発表及び授業参加(100%)

テキスト(Textbooks)

1. Jules Verne. 2008. The Extraordinary Journeys: Around the World in Eighty Days. Oxford University Press (ISBN:0199552517)

参考文献(Readings)

1. フォルカー・デース、2014、『ジュール・ヴェルヌ伝』、水声社 (ISBN:4801000304)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA672／ラグジュアリーブランド・マネジメント1 (Luxury Brand Management 1)		
担当者名 (Instructor)	庄司　貴行(SHOJI TAKAYUKI)		
学期 (Semester)	秋学期1(Fall Semester 1)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 秋学期1(9/20～11/15)開講科目		

授業の目標(Course Objectives)

ラグジュアリーブランド・マネジメントの基礎的な考え方を理解する。

授業の内容(Course Contents)

本講義では，いわゆる「高級ブランド品」を製造・販売するラグジュアリーブランド企業の経営を分析する。20 世紀後半以降の日本経済力の源泉は，電気機器ならびに自動車産業に代表される加工組立型工業にほぼ限定されており，そこでは高品質の製品を相対的低価格で量産することで国際競争力を発揮してきたと考えられる。しかし一方で，「ブランド品」とされるような高付加価値型の製品・サービスの分野においては，むしろ欧米系企業が優位にあり，日本企業は必ずしも国際競争力を発揮できてはいない。

さらには，製品・サービスを価格以外で差別化することが困難になる現象がコモディティー化として多くの産業分野において指摘されるなかで，品質や性能といった製品・サービスそのものの価値ではなく，購入したり使用したりする「経験」こそが差別化要因として注目されるようになっている。ラグジュアリーブランドのビジネスは，まさにそうした「経験」による差別化を実践する先端的業種のひとつという側面を有している。

この講義では，これまであまり体系的に研究されてこなかったラグジュアリーブランド・ビジネスについて，可能な限り実務家をゲストスピーカーに招き，また現実のケースを紹介しながら，その多面的な理解を目指す。

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション：ラグジュアリーブランド・ビジネスとはなにか
2. ラグジュアリーブランド・ビジネスの主要企業
3. ラグジュアリーブランド・ビジネスの市場規模
4. ラグジュアリーブランド・ビジネスの市場構造
5. ラグジュアリーブランド企業の出店戦略
6. 路面店で販売するのか百貨店で販売するのか
7. ラグジュアリーブランド企業の価格戦略
8. アウトレットの活用とマークダウン
9. ラグジュアリーブランド企業の広告戦略
10. ラグジュアリーブランド企業の広報戦略
11. ラグジュアリーブランド企業の人材戦略
12. 顧客接点における販売員の役割
13. 学生プレゼンテーション
14. 学生プレゼンテーション

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時に必要に応じて指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終プレゼンテーション(60%)/授業内ディスカッションへの貢献度(40%)

テキスト(Textbooks)

講義のなかで必要に応じて配布する。

参考文献(Readings)

特になし。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

本科目では、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA673／ラグジュアリーブランド・マネジメント2 (Luxury Brand Management 2)		
担当者名 (Instructor)	庄司　貴行(SHOJI TAKAYUKI)		
学期 (Semester)	秋学期2(Fall Semester 2)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 秋学期2(11/16～1/23)開講科目		

授業の目標(Course Objectives)

ラグジュアリーブランド・マネジメントの実際とその基本戦略を理解する。

授業の内容(Course Contents)

本講義では，いわゆる「高級ブランド品」を製造・販売するラグジュアリーブランド企業の経営を分析する。20 世紀後半以降の日本経済力の源泉は，電気機器ならびに自動車産業に代表される加工組立型工業にほぼ限定されており，そこでは高品質の製品を相対的低価格で量産することで国際競争力を発揮してきたと考えられる。しかし一方で，「ブランド品」とされるような高付加価値型の製品・サービスの分野においては，むしろ欧米系企業が優位にあり，日本企業は必ずしも国際競争力を発揮できてはいない。

さらには，製品・サービスを価格以外で差別化することが困難になる現象がコモディティー化として多くの産業分野において指摘されるなかで，品質や性能といった製品・サービスそのものの価値ではなく，購入したり使用したりする「経験」こそが差別化要因として注目されるようになっている。ラグジュアリーブランドのビジネスは，まさにそうした「経験」による差別化を実践する先端的業種のひとつという側面を有している。

この講義では，これまであまり体系的に研究されてこなかったラグジュアリーブランドビジネスについて，可能な限り実務家をゲストスピーカーに招き，また現実のケースを紹介しながら，その多面的な理解を目指す。

授業計画(Course Schedule)

1. ラグジュアリーブランド企業のEコマース戦略
2. ヴァーチャル店舗とリアル店舗
3. ラグジュアリーブランド企業のMD戦略
4. マーチャンダイジングとビジネス・プランニング
5. ラグジュアリーブランド企業における販売戦略
6. ブランド・ストレッチングとセカンドブランド戦略
7. ラグジュアリーブランド企業の流通戦略
8. ラグジュアリーブランド企業と百貨店
9. ラグジュアリーブランド企業のライセンス戦略
10. ラグジュアリーブランド企業と総合商社
11. 日本市場におけるラグジュアリーブランド・ビジネス
12. ラグジュアリーブランド・ビジネスの現在
13. 学生プレゼンテーション
14. 学生プレゼンテーション

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

ラグジュアリーブランド・マネジメント1を受講していることが望ましい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終プレゼンテーション(60%)/授業内ディスカッションへの貢献度(40%)

テキスト(Textbooks)

講義のなかで必要に応じて配布する。

参考文献(Readings)

授業内で必要に応じて配布する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

本科目では、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA674／コーポレートファイナンス研究1 (Seminar on Corporate Finance1)		
担当者名 (Instructor)	野田　健太郎(NODA KENTARO)		
学期 (Semester)	春学期1(Spring Semester 1)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 春学期1(4/11～5/31)開講科目		

授業の目標(Course Objectives)

本講義は、企業評価や事業採算に関する幅広い知識の修得を目指す。

授業の内容(Course Contents)

財務諸表の見方、事業収支の計算、ファイナンス理論などについて解説する。実際の企業の動きを見ながら、ディスカッションをベースに授業を進める。

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 財務諸表と財務データの活用を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
3. 収益分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
4. 安全性分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
5. キャッシュフロー分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
6. マクロ環境分析・セグメント分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
7. 企業価値関連情報を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
8. 将来予想分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
9. 企業行動分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
10. 産業分析でディスカッションを行う(1)。
11. 産業分析でディスカッションを行う(2)。
12. 産業分析でディスカッションを行う(3)。
13. 企業価値評価を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
14. まとめ(最終テスト)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各回の講義範囲を復習すること

成績評価方法・基準(Evaluation)

出席、報告内容などによって総合的に評価する。(70%)/最終テスト(Final Test)(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 野田健太郎、2017、『戦略的リスクマネジメントで会社を強くする』、中央経済社 (ISBN978-4-502-21761-6 C3034)

参考文献(Readings)

1. 野田健太郎、2013、『事業継続計画による企業分析』、中央経済社 (ISBN:978-4-502-08320-4)
2. 野田健太郎、2004、『ベンチャー育成論入門―起業家マインドの醸成に向けて』、大学教育出版
3. 伊藤邦雄、2014、『新・企業価値入門』、日本経済新聞出版社

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

本科目は、簡単な講義に続いてクラスあるいはチーム単位でディスカッション、プレゼン形式で授業を展開する。双方向による授業の割合は 100%である。
本科目は、5 年以上の実務経験を有する実務家教員による授業である。

注意事項(Notice)

本科目は、5 年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA675／コーポレートファイナンス研究2 (Seminar on Corporate Finance2)		
担当者名 (Instructor)	野田　健太郎(NODA KENTARO)		
学期 (Semester)	春学期2(Spring Semester 2)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 春学期2(6/1～7/19)開講科目		

授業の目標(Course Objectives)

本講義は、企業評価や事業採算に関する幅広い知識の修得を目指す。

授業の内容(Course Contents)

財務諸表の見方、事業収支の計算、ファイナンス理論、企業審査について解説する。後半では無形資産やCSRのトピックについても触れる。実際の企業の動きを見ながら、プレゼン・ディスカッションをベースに授業を進める。

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 企業審査を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
3. リスクマネジメントを取り上げ解説及びディスカッションを行う(1)。
4. リスクマネジメントを取り上げ解説及びディスカッションを行う(2)。
5. CSR を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
6. コーポレートガバナンスを取り上げ解説及びディスカッションを行う。
7. リスクコミュニケーションを取り上げ解説及びディスカッションを行う。
8. リスクマネジメントの効果を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
9. 実証分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
10. リスクマネジメントの事例についてプレゼン・ディスカッションを行う(1)。
11. リスクマネジメントの事例についてプレゼン・ディスカッションを行う(2)。
12. リスクマネジメントの事例についてプレゼン・ディスカッションを行う(3)。
13. リスク情報の活用を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
14. まとめ(最終テスト)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

担当の回についてはレジメを準備すること

成績評価方法・基準(Evaluation)

出席、報告内容などによって総合的に評価する。(70%)/最終テスト(Final Test)(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 野田健太郎、2013、『事業継続計画による企業分析』、中央経済社 (ISBN:ISBN978-4-502-08320-4)

参考文献(Readings)

1. 野田健太郎、2017 年、『戦略的リスクマネジメントで企業を強くする』、中央経済社 (978-4-502-21761-6 C3034)
2. 野田健太郎、2004 年、『ベンチャー育成論入門』、大学教育出版

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

本科目は、簡単な講義に続いてクラスあるいはチーム単位でプレゼン、ディスカッション形式で授業を展開する。双方向による授業の割合は 100%である。
本科目は、5 年以上の実務経験を有する実務家教員による授業である。

注意事項(Notice)

本科目は、5 年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA676／経営財務1 (Financial Management 1)		
担当者名 (Instructor)	野田　健太郎(NODA KENTARO)		
学期 (Semester)	春学期1(Spring Semester 1)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 春学期1(4/11～5/31)開講科目		

授業の目標(Course Objectives)

本講義は、企業評価や事業採算に関する幅広い知識の修得を目指す。

授業の内容(Course Contents)

財務諸表の見方、事業収支の計算、ファイナンス理論などについて解説する。実際の企業の動きを見ながら、ディスカッションをベースに授業を進める。

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 財務諸表と財務データの活用を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
3. 収益分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
4. 安全性分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
5. キャッシュフロー分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
6. マクロ環境分析・セグメント分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
7. 企業価値関連情報を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
8. 将来予想分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
9. 企業行動分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
10. 産業分析でディスカッションを行う(1)。
11. 産業分析でディスカッションを行う(2)。
12. 産業分析でディスカッションを行う(3)。
13. 企業価値評価を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
14. まとめ(最終テスト)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各回の講義範囲を復習すること

成績評価方法・基準(Evaluation)

出席、報告内容などによって総合的に評価する。(70%)/最終テスト(Final Test)(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 野田健太郎、2017、『戦略的リスクマネジメントで会社を強くする』、中央経済社 (ISBN978-4-502-21761-6 C3034)

参考文献(Readings)

1. 野田健太郎、2013、『事業継続計画による企業分析』、中央経済社 (ISBN:978-4-502-08320-4)
2. 野田健太郎、2004、『ベンチャー育成論入門―起業家マインドの醸成に向けて』、大学教育出版
3. 伊藤邦雄、2014、『新・企業価値入門』、日本経済新聞出版社

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

本科目は、簡単な講義に続いてクラスあるいはチーム単位でディスカッション、プレゼン形式で授業を展開する。双方向による授業の割合は 100%である。
本科目は、5 年以上の実務経験を有する実務家教員による授業である。

注意事項(Notice)

本科目は、5 年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA677／経営財務2 (Financial Management 2)		
担当者名 (Instructor)	野田　健太郎(NODA KENTARO)		
学期 (Semester)	春学期2(Spring Semester 2)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 春学期2（6/1～7/19）開講科目		

授業の目標(Course Objectives)

本講義は、企業評価や事業採算に関する幅広い知識の修得を目指す。

授業の内容(Course Contents)

財務諸表の見方、事業収支の計算、ファイナンス理論、企業審査について解説する。後半では無形資産やCSRのトピックについても触れる。実際の企業の動きを見ながら、プレゼン・ディスカッションをベースに授業を進める。

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 企業審査を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
3. リスクマネジメントを取り上げ解説及びディスカッションを行う（1）。
4. リスクマネジメントを取り上げ解説及びディスカッションを行う（2）。
5. CSR を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
6. コーポレートガバナンスを取り上げ解説及びディスカッションを行う。
7. リスクコミュニケーションを取り上げ解説及びディスカッションを行う。
8. リスクマネジメントの効果を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
9. 実証分析を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
10. リスクマネジメントの事例についてプレゼン・ディスカッションを行う（1）。
11. リスクマネジメントの事例についてプレゼン・ディスカッションを行う（2）。
12. リスクマネジメントの事例についてプレゼン・ディスカッションを行う（3）。
13. リスク情報の活用を取り上げ解説及びディスカッションを行う。
14. まとめ（最終テスト）

授業時間外（予習・復習等）の学習(Study Required Outside of Class)

担当の回についてはレジメを準備すること

成績評価方法・基準(Evaluation)

出席、報告内容などによって総合的に評価する。(70%)/最終テスト(Final Test)(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 野田健太郎、2013、『事業継続計画による企業分析』、中央経済社 (ISBN:ISBN978-4-502-08320-4)

参考文献(Readings)

1. 野田健太郎、2017 年、『戦略的リスクマネジメントで企業を強くする』、中央経済社 (978-4-502-21761-6 C3034)
2. 野田健太郎、2004 年、『ベンチャー育成論入門』、大学教育出版

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

本科目は、簡単な講義に続いてクラスあるいはチーム単位でプレゼン、ディスカッション形式で授業を展開する。双方向による授業の割合は 100%である。
本科目は、5 年以上の実務経験を有する実務家教員による授業である。

注意事項(Notice)

本科目は、5 年以上の実務経験を有する実務家教員による授業であり、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA678／ヒューマン・リソース・マネジメント1 (Human Resource Management 1)		
担当者名 (Instructor)	庄司　貴行(SHOJI TAKAYUKI)		
学期 (Semester)	春学期1(Spring Semester 1)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 春学期1(4/11～5/31)開講科目		

授業の目標(Course Objectives)

ヒューマン・リソース・マネジメント(HRM)と呼ばれる活動の全体像を把握し、その基本的なメカニズムならびに今日的課題について理解する。

授業の内容(Course Contents)

HRM は、「企業目標の達成に必要な従業員(労働力)を確保し、その合理的な利用をはかる管理活動」として定義することが出来る。日本企業においてはこれまで、終身雇用、年功序列、企業内組合、さらには職能資格制度といったことがその雇用システムの特徴として繰り返し指摘されてきた。はたしてそれは、どのようなメカニズムと理論的背景をもつ仕組みであったのか。そしてそれは現在、どのように変化してきており、さらに今後はどのようになると考えられるのか。
この講義では、人材の採用・配置や報酬の管理、教育訓練、昇進・昇給管理、そして評価システムなど、HRM の具体的な内容についてその理論的背景とともに検討する。

授業計画(Course Schedule)

1. 日本型雇用システム
2. 日本型経営の三本の柱
3. 雇用システムと雇用保障
4. 雇用の流動化と人材フロー
5. キャリアの開始と展開
6. 職務概念と専門職の登用
7. 雇用のコスト
8. 労働時間の弾力化
9. 雇用システムの多様化
10. 非正規雇用と派遣労働力
11. 労働者の引退過程
12. 雇用延長と再就職
13. 現代の HRM
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時に必要に応じて指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(90%)/クラス討議への貢献度(10%)

テキスト(Textbooks)

必要に応じて配布する。

参考文献(Readings)

1. 菅野和夫、2004、『新・雇用社会の法』、有斐閣
2. 神田秀樹、2017、『会社法　第 19 版』、弘文堂

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

本科目では、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	UA679／ヒューマン・リソース・マネジメント2 (Human Resource Management 2)		
担当者名 (Instructor)	庄司　貴行(SHOJI TAKAYUKI)		
学期 (Semester)	春学期2(Spring Semester 2)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	TRG5300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	池袋キャンパス開講 春学期2（6/1～7/19）開講科目		

授業の目標(Course Objectives)

ヒューマン・リソース・マネジメント(HRM)と呼ばれる活動の理論的把握とともに、企業としての成果達成との関連で HRM をどのようにデザインするかという視点から、今日的課題について理解する。

授業の内容(Course Contents)

HRM は、「企業目標の達成に必要な従業員(労働力)を確保し、その合理的な利用をはかる管理活動」として定義することが出来る。このことは、HRM のデザインは企業の経営環境・経営戦略との関連で分析・評価されなければならないことを意味している。この講義では、まず HRM の理論的背景を整理し、人材の採用・配置や報酬の管理、教育訓練、昇進・昇給管理、そして評価システムなど、HRM の具体的な内容についてその理論的背景とともに検討する。

授業計画(Course Schedule)

1. 日本型組織編成の原理
2. 日本型組織の国際移転
3. 企業グローバル化の発展段階
4. 本国志向・現地志向・世界志向
5. 企業組織の国際比較
6. 柔構造組織とコンテクスト
7. システムとしての日本型経営組織
8. 知的熟練の形成
9. イノベーションと組織
10. ナレッジ･マネジメント
11. コーポレートガバナンス
12. 株式法人所有と安定株主
13. 戦略的 HRM と組織変革
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時に必要に応じて指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(90%)/クラス討議への貢献度(10%)

テキスト(Textbooks)

必要に応じて配布する。

参考文献(Readings)

1. 菅野和夫、2004、『新・雇用社会の法』、有斐閣
2. 神田秀樹、2017、『会社法　第 19 版』、弘文堂

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

本科目では、全授業回数の 50%以上がディスカッションなど双方向形式の授業によって運営されます。

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	橋本　俊哉(HASHIMOTO TOSHIYA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	大橋　健一(OHASHI KENICHI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	豊田　由貴夫(TOYODA YUKIO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	舛谷　鋭(MASUTANI SATOSHI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	松村　公明(MATSUMURA KOUMEI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	葛野　浩昭(KUZUNO HIROAKI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	杜　国慶(DU GUOQING)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	千住　一(SENJU HAJIME)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	佐藤　大祐(SATO DAISUKE)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	毛谷村　英治(KEYAMURA EIJI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	越智　郁乃(OCHI IKUNO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	麻生　憲一(ASOH KEN-ICHI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	門田　岳久(KADOTA TAKEHISA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	東　徹(AZUMA TORU)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	韓　志昊(HAN JIHO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	羽生　冬佳(HANYU FUYUKA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	小野　良平(ONO RYOHEI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	豊田　三佳(TOYOTA MIKA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	高岡　文章(TAKAOKA FUMIAKI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	石橋　正孝(ISHIBASHI MASATAKA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	橋本　俊哉(HASHIMOTO TOSHIYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	大橋　健一(OHASHI KENICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	豊田　由貴夫(TOYODA YUKIO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	舛谷　鋭(MASUTANI SATOSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	松村　公明(MATSUMURA KOUMEI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	葛野　浩昭(KUZUNO HIROAKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	杜　国慶(DU GUOQING)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	千住　一(SENJU HAJIME)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	佐藤　大祐(SATO DAISUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	毛谷村　英治(KEYAMURA EIJI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	越智　郁乃(OCHI IKUNO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	麻生　憲一(ASOH KEN-ICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	門田　岳久(KADOTA TAKEHISA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	東　徹(AZUMA TORU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	韓　志昊(HAN JIHO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	羽生　冬佳(HANYU FUYUKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	小野　良平(ONO RYOHEI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	豊田　三佳(TOYOTA MIKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	高岡　文章(TAKAOKA FUMIAKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導 (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	石橋　正孝(ISHIBASHI MASATAKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	橋本　俊哉(HASHIMOTO TOSHIYA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	大橋　健一(OHASHI KENICHI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	豊田　由貴夫(TOYODA YUKIO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	舛谷　鋭(MASUTANI SATOSHI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	松村　公明(MATSUMURA KOUMEI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	葛野　浩昭(KUZUNO HIROAKI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	杜　国慶(DU GUOQING)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	千住　一(SENJU HAJIME)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	佐藤　大祐(SATO DAISUKE)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	毛谷村　英治(KEYAMURA EIJI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	越智　郁乃(OCHI IKUNO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	麻生　憲一(ASOH KEN-ICHI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	門田　岳久(KADOTA TAKEHISA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	東　徹(AZUMA TORU)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	韓　志昊(HAN JIHO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	羽生　冬佳(HANYU FUYUKA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	小野　良平(ONO RYOHEI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	豊田　三佳(TOYOTA MIKA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	高岡　文章(TAKAOKA FUMIAKI)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	石橋　正孝(ISHIBASHI MASATAKA)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	橋本　俊哉(HASHIMOTO TOSHIYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	大橋　健一(OHASHI KENICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	豊田　由貴夫(TOYODA YUKIO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	舛谷　鋭(MASUTANI SATOSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	松村　公明(MATSUMURA KOUMEI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	葛野　浩昭(KUZUNO HIROAKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	杜　国慶(DU GUOQING)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	千住　一(SENJU HAJIME)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	佐藤　大祐(SATO DAISUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	毛谷村　英治(KEYAMURA EIJI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	越智　郁乃(OCHI IKUNO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	麻生　憲一(ASOH KEN-ICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	門田　岳久(KADOTA TAKEHISA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	東　徹(AZUMA TORU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	韓　志昊(HAN JIHO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	羽生　冬佳(HANYU FUYUKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	小野　良平(ONO RYOHEI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	豊田　三佳(TOYOTA MIKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	高岡　文章(TAKAOKA FUMIAKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／研究指導(副) (Tutorial Session)		
担当者名 (Instructor)	石橋　正孝(ISHIBASHI MASATAKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	
科目ナンバリング (Course Number)	TRG7003	言語 (Language)	原則として日本語
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

観光学の諸専門領域および関連する主題群のなかから、受講者が自らテーマを選択・設定し、教員の指導の下に個別研究を実施して、博士学位論文につながる研究成果をまとめられるようにすることを目的とする。

授業の内容(Course Contents)

研究の各時期に応じた個別指導をおこなう。受講者が進めてきている研究の報告、指導教員からのコメントという濃密度の討議を通じて、受講者の研究の計画的かつダイナミックな進捗をはかっていく。合わせて、研究の進め方、論文の書き方、調査の方法や進め方、等についても、適宜、関連する先行研究や博士学位論文等の例によりながら指導する。

授業計画(Course Schedule)

一人一人の受講者について、前年度までの研究進捗状況を確認し、年次の研究計画作成及びそれに関する指導をおこなう。研究の進め方、調査の方法や実施、論文の書き方や構成等について、受講生からの報告を受け随時コメント及び指導を進める。受講生は、一連の研究指導にもとづく研究の進捗と成果について、学期末に研究成果報告書にまとめて提出し、博士論文執筆に向けた道筋及び課題を指導教員と共有する。
また、受講生は専任教員ならびに研究科在籍中の学生の出席のもと開催される「博士論文中間報告会」において、研究経過の発表を行い、指導を受ける。合わせて、前期課程の各種報告会に出席し、質疑を行うとともに研究科内の他の学生の研究の進め方や指導について理解を深める。

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各自の研究テーマに関連する先行研究等の収集、研究科内外の研究会や学会等に向けた準備や発表、論文の執筆、および『立教観光学研究紀要』をはじめ内外の学術雑誌への投稿など。

成績評価方法・基準(Evaluation)

指導教授と相談のうえ提出する「研究計画書」、各学期末に提出する「研究成果報告書」、および日常的な研究指導における研究報告や質疑応答、学会の参加と研究発表、論文投稿などの業績をもとに総合的な評価を行う。(100%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

受講者の研究テーマに応じて、随時紹介する。

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

RIKKYO UNIVERSITY
MDCCCLXXIV
PRO DEO ET PATRIA